

区分	科目名	担当教員	学年	時数	時期	種別
実習	電装品 点検分解組立調整検査 1	矢野 史門	3	18 (全98)	前期	必修
授業の概要	灯火装置の構造、作動、整備作業を実物の点検、分解、調整を通して学ぶ。					
授業の進め方	各内容説明後、実作業を行う。					
到達目標	灯火装置の分解、組み立てで構造を理解し、各点検、作業要領を理解して実践に繋げる。					
講義内容						
時間	項目	目標				
1 ～ 3	灯火装置	灯火装置の点検方法について理解する。				
4 ～ 8	灯火装置	灯火装置の故障探求法について理解し、整備できるようになる。				
9 ～ 11	パワーウィンドウ	パワーウィンドウの構造と点検法を理解する。				
12 ～ 15	パワーウィンドウ	実車でパワーウィンドウのシステム点検を行い、整備できるようになる。				
16 ～ 18	前期中間試験	定期試験				
成績評価方法	実技試験・80点、平常点・20点(※レポート提出、受講態度、小テストなども含む)					
教科書・配布物	教科書:日本自動車整備振興会連合会 二級ガソリン自動車・二級ジーゼル自動車・二級自動車シャシ その他各種資料					
アドバイス	実際の部品等で知識を確認することができます。しっかりと技術を習得して実践に繋げれるよう取り組みましょう。					

区分	科目名	担当教員	学年	時数	時期	種別
実習	電装品 点検分解組立調整検査 2	矢野 史門	3	18 (全98)	前期	必修
授業の概要	ワイヤーやメーター類の構造、作動、整備作業を実物の点検、分解、調整を通して学ぶ。					
授業の進め方	各内容説明後、実作業を行う。					
到達目標	ワイヤーやメーター類の分解、組み立てで構造を理解し、各点検、作業要領を理解して実践に繋げる。					
講義内容						
時間	項目	目標				
1 ～ 3	シャシ電装	ワイヤーモータ、スピードメータ等各種計器類の概要について理解する。				
4 ～ 9	シャシ電装	ワイヤーモータ、スピードメータ等各種計器類の分解・組み立てを通して、構造を理解する。				
10 ～ 15	シャシ電装	ワイヤーモータ、スピードメータ等各種計器類の故障探究法について理解し、整備できるようになる。				
16 ～ 18	前期期末試験	定期試験				
成績評価方法	実技試験・80点、平常点・20点(※レポート提出、受講態度、小テストなども含む)					
教科書・配布物	教科書:日本自動車整備振興会連合会 二級ガソリン自動車・二級ジーゼル自動車・二級自動車シャシ その他各種資料					
アドバイス	実際の部品等で知識を確認することができます。しっかりと技術を習得して実践に繋げれるよう取り組みましょう。					

区分	科目名	担当教員	学年	時数	時期	種別
実習	電装品 点検分解組立調整検査 3	矢野 史門	3	21 (全98)	後期	必修
授業の概要	カーエアコンの構造、作動、整備作業を実物の点検、分解、調整を通して学ぶ。					
授業の進め方	各内容説明後、実作業を行う。					
到達目標	カーエアコンの分解、組み立てで構造を理解し、各点検、作業要領を理解して実践に繋げる。					
講義内容						
時間	項目	目標				
1 ～ 3	エアコン	エアコンの構造について理解する。				
4 ～ 12	エアコン	エアコンの点検方法について理解し、整備できるようになる。				
13 ～ 18	エアコン	エアコンの冷媒抜き替え方法について理解し、作業できるようになる。				
19 ～ 21	後期中間試験	定期試験				
成績評価方法	実技試験・80点、平常点・20点(※レポート提出、受講態度、小テストなども含む)					
教科書・配布物	教科書:日本自動車整備振興会連合会 二級ガソリン自動車・二級ジーゼル自動車・二級自動車シャシ その他各種資料					
アドバイス	実際の部品等で知識を確認することができます。しっかりと技術を習得して実践に繋げれるよう取り組みましょう。					

区分	科目名	担当教員	学年	時数	時期	種別
実習	電装品 点検分解組立調整検査 4	全教員	3	41 (全98)	通年	必修
授業の概要	実動車を使用し、電装部品等の点検・分解・組立・調整・検査を行う。					
授業の進め方	各班ローテーションにて、教習車や教材車の点検整備等を行い、必要に応じた整備作業を実施する。					
到達目標	就職後の企業にて即戦力として働くようになる。					
講義内容						
時間	項目	目標				
1 ～ 38	応用点検実習	様々な教材車を使用し、実動車の点検・整備ができるようになるための実習を行う。 自動車学校にて実動している様々な教習車の点検等を実施し、消耗品や不具合部品の発見を行う。 必要に応じて部品の交換・調整を行い、安全に走行できる状態へと修復する。 必要に応じて車両の検査を行い、安全に走行できる状態であることを確認する。				
39 ～ 41	後期期末試験	定期試験				
成績評価方法	実技試験・80点、平常点・20点(※レポート提出、受講態度、小テストなども含む)					
教科書・配布物	必要に応じた資料を配布する。					
アドバイス	就職して即戦力となるように努力してください。また、安全作業を徹底し正しい作業方法を身につけてください。					